



# 協会TIMES

第40号  
2023年10月1日  
(発行所)  
富津市国際交流協会

Futtsu International Relationship Association



## 富津市国際交流協会 会長 川名 健一

このたびの総会により会長を再任させていただくこととなりました。また、新たな役員も加わりました。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

中学生による姉妹都市への派遣事業につきましては、2005年度を最後として中断しておりましたが、本年度から教育委員会との共催により隔年で実施されることとなりました。具体的には、市内の中学生がカールズバッド市を1週間程度訪問して、アメリカの家庭にホームステイし現地の学生との交流を図ることなどにより、生の英語を体験し、また国際感覚を身につける一助とするプログラムです。そして、この8月に4名の中学生が派遣されました。この事業の再開は長年に亘る当協会の悲願でありましたので、派遣の実施に理解を示していただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

また、6月にカールズバッドから5名の高校生が来訪いたしました。各々ホストファミリー宅に5泊して富津を楽しんでいただきました。毎回ホストファミリーの応募が少ないことが当協会の悩みですが、中学や高校で学んだ英語で十分意思疎通は可能ですので、

是非ともお子様と一緒にホストファミリーを経験していただきたいと思います。いつまでもご家庭で共有できる楽しい思い出となることでしょう。

なお、当協会の事業として、市内に在住の外国人の方のために日本語教室や外国人生徒のために学習支援を行っております。少しでも日本語能力の向上に役立っていただければ幸いです。また、英会話教室も開催しております。昔、学校で習った英語を更に学びたいとの意欲がある方は少なくないと思います。一人で学ぶのは継続が難しいものですが、教室で志を同じくする仲間と学べば自ずと向上すること必定です。

それでは、皆様と共に、派遣事業などを通じて姉妹都市との友好親善と相互理解を更に深め発展させることができるよう役員一同頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



## 富津市国際交流協会団体会員紹介

富津市文化協会  
上総モラロジー事務所  
富津中央ロータリークラブ  
富津漁業協同組合  
富津市小中学校校長会  
千葉県立君津商業高等学校  
黒田精工株式会社富津工場

株式会社 マザー牧場  
株式会社 ジュピターコーポレーション富津工場  
株式会社 千葉銀行富津支店  
千葉信用金庫富津支店  
君津信用組合富津支店  
有限会社 丸和建材社  
富洋観光開発株式会社

株式会社 森工務店  
イオンモール(株)イオンモール富津  
三陽メディア株式会社富津営業所  
有限会社 親和商店  
鋳持工業株式会社

# 令和5年度富津市国際交流協会総会

日頃から富津市国際交流協会の活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

令和5年度の総会が5月20日（土）に富津公民館で開催されました。令和4年度の事業報告、決算報告、令和5年度の事業計画、予算等全て承認されました。

今年度は役員改選の年です。新たに理事として中澤愛子さん、監事として平野等さん、山口初江さんが就任いたしました。

また令和5年度は、カールズバッド市高校生来訪（6月）、富津市中学生海外派遣事業（8月）など盛り沢山の行事があることを説明いたしました。

富津市国際交流協会の更なる発展のため、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 令和5年度富津市国際交流協会役員

氏名	区分	備考
川名健一	理事	現 会長
渡辺務	理事	現 副会長
綾部裕美子	理事	現 副会長兼交流部会長
小幡智子	理事	現 総務部会長
吉原智太郎	理事	現 理事
須藤敦子	理事	現 理事
久米ゆい	理事	現 理事
中山莉沙	理事	現 理事
梅原 淳	理事	現 理事
中澤愛子	理事	新任
中山雅樹	理事	現 会計 千葉信用金庫
平野 等	監事	新任
山口初江	監事	新任

## 富津市国際交流協会顧問

区分	役職名	氏名
顧問	富津市長	高橋恭市
顧問	富津市教育長	岡根 茂
顧問	元富津市国際交流協会会長	三枝一雄
顧問	元富津市国際交流協会会長	小野恒靖

## 監事就任にあたって



### 平野 等

この度監事を仰せつかりました、平野です。

自分と国際交流協会との繋がりを持ったのは、約20

年前総会時何か皆さんの前で話をして貰えないかと、依頼がありました。

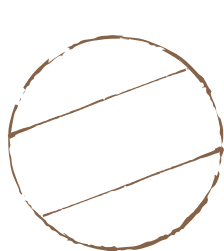
箱根駅伝をテーマに話させて頂きました。今から思うと誠に恥ずかしく思えてなりません。その後、何か国際交流協会に恩返しをしなければならぬと心の中で思っていました。

丁度カールズバッド市との姉妹都市開始から、30周年記念式典でアメリカに行ってみないかと、お誘いを頂き参加させて頂きました。これには、小泉副市長、川名会長、渡辺副会長、綾部副会長と自分で、大人5人と中学生3人の8名で訪問しました。

この経験で、将来有望な中学生は、きっと富津市のために活躍されることと思います。

また、カールズバッド市から、こちらに高校生が今年の6月に来訪されています。君津商業高校、吉野小学校に訪問しています。きっと子供達は、アメリカの高校生と接して、何か大きなものを得ているものと感じえます。

将来のある子供たちが国際交流を通じて、国際的な視野を持って活躍されることを願っています。後方から、支援する国際交流協会にご協力をお願い致します。



# 久々の姉妹都市からの来訪

2019年から4年ぶりに姉妹都市カールズバッド市から高校生5名、引率者2名、計7名の来訪がありました。

## 行程として

- 6月16日 羽田空港着  
市役所でホスト・ファミリーと面会
- 17日 東京へ(皇居、浅草寺、原宿)
- 18日 各ホスト・ファミリーと過ごす  
午後6時よりTHE FISHにてレセプション
- 19日 君津商業高校訪問、交流  
折り紙体験、英語授業等
- 20日 吉野小学校訪問 英語授業  
禅研修所にて禅体験  
マザー牧場 昼食  
市長表敬訪問
- 21日 市役所より横浜方面へ

この間、5泊  
市内の家庭に  
ホームステイしました。  
受け入れてくださった  
ホストファミリーの方々  
ご協力ありがとうございました。

## 楽しかったホストファミリー

### カールズバッドから来た高校生 アメリ・デイ(Amelie Day)さん

梅原 夏日



ホストファミリーになって、今年で3回目となりました。今回も無事に終わり、一抹の寂しさもありながら、ほっとしているところです。わが家がホストファミリーになったきっかけは、当時小学生だった息子に英語に親んでもらえればと思い、応募したのがきっかけです。その息子も、カールズバッドの高校生と同じ年代になりました。今年、今までは違い、5泊の滞在、そしてホストファミリーと過ごす日が1日ありました。過去2回とも2泊だったので、それを聞いた時は、少し不安になりましたが、たくさん話せる時間があると思いき、楽しみになりました。また、始まってしまえばあっと言う間でした。

ホストファミリーと過ごす日は、いろいろ事前に考えてみたのですが、結局、本人に聞いてみることにしました。高校生が到着した日に聞いてみたところ、「銀座でショッピングしたい」と即答したので、女子高校生らしいなと思いました。

当日は、高校生と主人と私の3人で銀座の三越に行きました。彼女は、かわいいサンダルに目が釘付けになり、値段を計算したり、試し履きしたりと買い物を楽しんでいて、見ているこちらも嬉しくなりました。お昼は、上の階のレストランで天ぷらを一緒に食べました。「おいしい」と言いながら、ニコニコして全部食べていました。

高校生と話す時間はとても楽しく、話題はつきません。普段の生活のことや、音楽のことなどなど。わたしはあまり英語は話せないのですが、高校生が帰った後は、もっと英会話を勉強しようと、毎回決意だけはしています。

また、高校生たちが本当に日本が好きで、よく知っていることに驚かされます。日本食も、アメリカで親しんでいる様子。そんな彼ら、彼女らに日本や富津のことをもっと知ってもらいたい、そのためには、私たちがもっと日本や富津のことを知らなければ、と日々思っています。

## 初めてのホストファミリー アイザックを迎えて

坪池 司志・祐子・翔大朗



楽しい後は別れがあります。アイザックの翻訳ソフトでの『皆様ありがとうございます。最愛の家族にまた会いたいです。』と言うメッセージに涙が出ました。

最後の日に、我が子を送り出す気持ちで、こみ上げるものがあり別れが辛かったです。我が家に来てくれて、ありがとう。日本の楽しい思い出と共に、いつの日か会える日を楽しみに、今回のホストファミリーの締めくくりとさせて頂きます。

はじめに、このような機会を頂き国際交流協会関係各所の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

初めてのホストファミリーでしたので何かと至らぬ事もありましたが、家族にとっても貴重な経験となり、わずか6日間の異文化交流でしたが、お金では買えない時間となりました。

中学生の息子は幼少期より英語を学ばせて英検2級も取得していたので会話も出来て楽しそうでした。私達夫婦は言葉は通じませんが、気持ちちは通じていたように感じます。

自宅に他の人を泊めたのは親戚以外初めてでしたが、性格のとても良いボクちゃん、身長が194cmと高くハグをすると、駄々っ子が親にしがみつくと絵面になってしまい笑ってしまいました。

将来は政治家などになりたいと言っていましたので楽しみです、お辞儀や挨拶が日本人より上手で改めて挨拶の大切さを学ばされました。

ホストファミリーと過ごす日は、館山城や、さかなクンがイメージキャラクターを務める「渚の駅たてやま」、地元の鋸山ロープウェーなどを訪れました。特に竹炭アイスを食べた口の周りを真っ黒にして笑えた楽しい日となりました。

## 初めてのホストファミリー Allieを迎えて

並木 愛



がないとのことでした。そのため、できるだけ馴染みのある食事を準備するよう心掛けながら、少しずつ日本らしいものにも挑戦してもらいました。一緒に回転寿司に行ったり、日本のカレーにも喜んでくれて、最終日には上手に箸を使いこなしていました。

唯一の休日は、本人の希望でショッピングモールに行きました。日本のアニメや可愛いキャラクターが大好きで、一番長い時間留まっていたのは、UFOキャッチャーとガチャガチャでした。見た目は大人っぽくてもやはり14歳ですね。その後、みんなで東京湾観音に上り、富津と東京湾の雄大な景色を一緒に堪能しました。

あつという間の5日間でしたが、その間いろいろなお話をし、とても楽しい時間を過ごすことができました。Allieも、いつかカールスバッドに来る学生のホストファミリーになりたいと話していたので、良い時間を過ごしてもらえたのではないかと思います。また機会があれば、新しい家族との出会いを楽しみたいと思います。

私たち家族は、今回初めてホストファミリーとしてカールスバッドの学生を受け入れました。応募した理由としては、小学2年生の息子にとって貴重な経験になるだろうと考えたためです。息子は英語を勉強しているものの、普段外国の方と接することがほとんどないため、機会があればホストファミリーになってみようと考えていました。そんな時に偶然広報の記事を見つけたので、即応募しました。

我が家に来たのは、14歳のAllieという学生でした。最初はAllieも私たちも少しぎこちない雰囲気でした。特に息子は恥ずかしがってしまい、これまで学んだ英語もすっかり抜けてしまったようで、私を盾にして隠れていました。間違えるのが恥ずかしいと言っていて、こんなに幼くてもそういう気持ちになってしまうのかと驚きましたが、最終日によりやく緊張から解放され、自らゲームのお誘いをするまでになりました。

Allieは、外国に来たのが初めてで、日本食は時々家族と食べに行くと言ってはいましたが、生のお魚を食べたことがなく、箸も持ったこと

# Hi Sadie! Nice to meet you!

高橋 美智子



市役所での対面式から、私たちのホストファミリーとしての生活が始まりました。その日、出会ったのは小柄で、とてもcuteな女子高生セディ。

セディはオシャレで日本の「かわいい」ものにとっても興味がありそうでした。

セディの好きな食べ物が「フォー」という意外な言葉に驚きましたが、お母さんがベトナム出身ということで納得。お箸を使うのも上手です。ナイフやフォークも用意していたのですが、ほとんど使うことがありませんでした。

お寿司も好きだということで、回転寿司と一緒にいくことになりました。もちろん彼女の住むサンディエゴにも回転寿司はあるようですが、種類や注文のしかたも違い、英語変換にしたタブレットで自分で注文するのを楽しんでいました。中一の私の孫は英語初心者ですが、日本のアニメをスマホで見せて、キャラクターなどに共感する彼女と片言の英語で話が盛り上がっていました。アニメ音痴の私にはわからない若者の世界でした。わかったのは日本のアニメがアメリカでもとても人気があるということでした。

ホストファミリーと過ごす1日、私たちは富津市内巡りにすることにしました。自宅から富津公園の展望台、東京湾観音、竹岡のラーメン屋さん、鋸山と、定番観光といったところでしょうか。市役所の観光パンフの英語版が役立ちました。最後に、たくさん歩いて、登って疲れた足を金谷の足湯で癒しました。一緒に行った私の孫とその友

達もほんの少しの英語とジェスチャーでコミュニケーションし、アメリカから来た新しい友達とのふれあいを楽しんでいました。

アメリカからホームステイに来ている子がいると聞いて、親戚やら、英語を勉強している小学生やら、いろいろな人が我が家に集まって来て、それぞれの国際交流。我が家の猫のいちごもすりすりし、かわいがってもらいました。毎晩、セディと一緒にベッドです。

みんなWelcomeの気持ちはいっぱいでした。

ホストファミリーの体験で思ったことは「もっと自由に英語が話せたら、もっとたくさんのことを伝えられて、もっと手厚いおもてなしができたのでは」ということです。

最後の日、そのことを伝えたら、優しいセディは「大丈夫。わかる英語だったよ。」と返してくれました。毎日、ルー大柴みたいな英語をわかろうとしてくれてありがとう!

# ホストファミリーを体験して

竹之内 とみ子



「広報ふつつ」5月号にホストファミリー募集の記事がありまして、目にとまりました。

十年位前までは協会での受ける、出すの世話をしていたのですがホストファミリーの経験は富津ではありません。10年ぶりの富津市国際交流協会のイベントに参加です。カールズバッド市からの訪問一行は高校生5名、付添2名の計7名です。

私は家族に協力してもらい、宿泊、食事、毎日の予定にあわせて会場への送迎など交流を重ね、この時期、海外にでるには孫も小さく、円→ドルのレートも高いので逆体験です。

リアナさん、スイスから6年振りに米国に帰国そして試験を受け来富津という冷静沈着なおじょうさんでした。リアナと合流、帰り道、東京湾観音、新舞子海岸、マリンヒルに案内し、景観の素晴らしさを堪能していただきました。ホストファミリーとの自由行動日には、歴史好きというので富津市の名の由来の一つになっている場所を訪問、1945年 終戦後8月28日、アメリカ海兵隊三百余名日本本土初上陸、米国旗掲揚された下洲海岸にも行きました。その記念すべき史実を記した碑は草むらに横たわっていたのが残念ですが、又、トム会長にこの話をしたら是非行きたいといっておられた事も思い出しました。

その後鋸山に保田側から登り、日本一の摩崖仏を参拝、日本寺へと、そこから千五百羅漢像、百尺観音像を拝顔し地獄のぞきに行きました。心ゆくまで海と空と爽やかな時間を満喫したのです。

又、今回の来訪で十年前に私が当時カールズバッド、アンバサダーズ会長トムさんのお宅に宿泊させていただいた時のお孫さんが何と高校生となり訪問団の一員として来訪、感動の再会を果たしました。このホームステイを通しカールズバッド市との国際交流が昨日の様に思い出されました。

生徒を送り出すにも受けるにも、生徒・世話するスタッフ共々学習することができます。この気付く、考えるチャンスを与えるプログラムが永く続くことを祈ってやみません。

リアナは東京もいいけど、富津の山と海、水田の広がるこの景色がとって好きだとコメントを残していきました。

## ローレンさんのホストファミリーとして



玉井 百合子

2023年度、富津市の事業の一つである姉妹都市カールズバッド市からの高校生受け入れに際して、ホストファミリーとして選んで戴く事となりました。そんな私共の家で5泊6日過ごされた方がローレン・バーカーさんで今回の来訪者の方々の責任者として来日された方でした。富津市役所で初めてお会いした6月16日、ローレンさんと長女の途切れる事のない会話に安堵し私もその輪の中に入っておりました。市役所での会議終了後ローレンさんを伴い自宅へと向かいました。自宅でローレンさんを部屋に案内した後リビングにて皆でゆっくりとお茶を頂きました。

日本におけるカールズバッド市の皆様の日程表には様々な研修場所と時間割が記されておりました。ローレンさんは、しっかりとその時間割に添って行動されておりました。6月18日、一日ホストファミリーと共に過ごせる日があり、南総の名所を巡りたく石切り場である絶景の鋸山

ロープウェーや館山市にある館山城に行きました。館山城は里見義頼によって1580年築城されたといひます。

上総湊から館山まで結構な距離があり山側の新緑と東京湾の景色を楽しみながら目的地を目指す事が出来ました。現地について坂道を上り途中まで歩いた所で館山市の職員が対応して下さり城の概要を説明して下さいました。このことも城探索に色を添える出来事でした。坂を登りきった所に待望の城が見えてきました。どっしりとした佇まいの中にも繊細な美をたたえた城でした。天守閣から望める景観も素晴らしいものでした。ローレンさんにも満足して戴けたものと思っております。その日の夜、金谷にあるザ・フィッシュにて交流協会主催のレセプションが行われ富津市長はじめ、ご来賓の皆様方のご参加を頂きカールズバッド市の皆様、ホストファミリーの皆様と共に楽しい一時を過ごさせて戴きました。

ローレンさんと過ごした6日間、私達も違った観点から物を見る事が出来ました。そして、私達にとっても価値ある6日間でした。この機会を与えて戴いた事に感謝致します。将来ある子供達への影響も大であると同時に富津市の事業としても誇れるものと思ひます。ありがとうございました。

## 楽しかったホームステイ受け入れ



綾部 裕美子

久しぶりにカールズバッド市との交流事業が再開となりました。

今まで高校生のホームステイ受け入れはしてきましたが、今回はじめて引率の女性をホストすることになりました。

何も案内もなかったのでどんな方かもわからない状態での対面でした。彼女は、オーストラリア人でメルボルン出身との事。私の知り合いにメルボルンの人がいたのでごく身近に感じました。

私の拙い英語で話してもわかりやすいように話してくれます。彼女の気遣いが嬉しかったです。

彼女の愛称はジョーといひます。

ジョーはいつも参加学生のことを心配してくれて本当に頼りになる存在でした。

ジョーにとって来日するのは2回目だそうです、ホームステイは初めての経験だったようです。納豆も豆腐も美味しいと食べてました。

これから日本語を勉強したいと話していつか日本語で会話ができれば楽しいだろうなと思ひました。

富津市滞在中は、毎日盛りだくさんのスケジュールでもとてもエンジョイしてくれて思いやりのあるステキな女性です。

そんなジョーを今回ホストファミリーとして迎えることができて本当に幸せです。

ジョーに出会えてこれからの私の人生を楽しくしてくれそうです。

帰国後にご主人が失業したらしくカールズバッドからサンタバーバラに戻ると言っていたので淋しいですが、今はライン友達として繋がっています。

アメリカ独立記念日である7月4日にエンジェルス対パドレスの野球の試合をサンディエゴに観戦に行くのに大きなポスターを作ったそうです。3行にわたってOHTANI こんにちは 綾部 と書いたポスターを見て最高に感激しました。テレビでは映らなかったと思ひますが、そんなポスターを掲げてくれたことがとても嬉しかったです。

今回のホームステイでは私にできる事を精一杯させてもらい私もジョーと一緒に楽しく過ごすことができました。

ホストファミリーは、大変なこともあります、それ以上にすばらしい経験ができます。ぜひとも誰でもチャレンジしてほしいです。ホストファミリーの皆様、今回はお疲れ様でした。ご協力いただきありがとうございました。



# PEACE BELL RINGING



終戦から77年の昨年の夏、2022年8月6日に“Peace Bell Ringing”という、平和を願って鐘を鳴らすイベントを行いました。

富津市と姉妹都市である、アメリカのカールズバッド市と共同で開催され、インターネットで中継を繋ぎ、日本とアメリカそれぞれの場所から平和を願って開催されました。

昨年は、また戦争が始まるのを目の当たりにする、国際情勢の不安な年でした。

姉妹都市カールズバッドに住むウクライナ人の方から、平和に対するメッセージも寄せられ、戦争は過去のものではないことに胸が痛みました。

戦後77年という事で、実際に体験した方から話を聞くのはなかなか難しくなっています。それでも私たちは、戦争の恐怖や痛み、悲しみを想像することで平和を保とうとしています。平和の真の大切さは、本当に戦争を経験した人にしかわからないと思います。

なので私たちは、平和の素晴らしさを考えるより、戦争の恐ろしさを知り、平和を求めていく事しかできません。

私の祖母は幼いころに、空からの地を這う銃撃に追われた事があり、私はベルを鳴らす間ずっと頭の中でそのことを考えていました。逃げるときに二手に分かれた先のおばあさんは撃たれて亡くなったそうです。祖母の判断によっては今自分がここにいなかったらもう事を思い、命の脆さと、今この瞬間にも危機にさらされているウクライナの人々の状況に1日、1秒でも早く戦争が終わるよう願ってやみませんでした。

今回のイベントでは音楽を送り合う機会があり、カールズバッド市からは地元の音楽の先生がピアノの弾き語りで“*We Are the World*”を披露してくださいました。富津市からはサクソプレーヤーWakanaさんがMichael Jacksonの“*Heal the World*”の演奏がありました。私たちは過去に一度は争い合った国同士ですが、今はこうしてお互いに平和を願う音楽を送り合い、国境を越えてお互いを思い合う家族・友人のようになることができました。このようなイベントでは、言葉にできない気持ちでいっぱいになりますが、音楽のお陰で気持ちを曲に乗せて皆で気持ちを共有し合う時間となりました。

最後になりますが、このイベントに参加された全ての方にお礼を申し上げます。戦争を経験していない私たちにとって、国を越えて命や戦争、平和について考える貴重な機会となりました。このあたたかな交流と平和がいつまでも続きますようにと願うばかりです。

**Special Thanks: Wakana!! I'm so proud of you as a “Hometown” citizen. And also, glad we are born in the same generation.**

Yui

## 中学生海外派遣

令和5年度 富津市中学生海外派遣交流事業

コロナ禍でしばらく往来ができませんでしたが、姉妹都市カリフォルニア州カールズバッド市との交流事業が今回、国際交流協会と教育委員会との共催事業として再開しました。

市内在住の中学生を募集したところ多数の申込をいただきました。選考の結果4名の中学生が派遣されることとなりました。令和5年8月22日～8月28日まで、カールズバッド市を訪問しました。

## 日本語教室の紹介

富津・日本語ボランティアが行っている日本語教室があります。隔週第2・第4日曜日に中央公民館との共催で行っています。

## 英会話教室

富津公民館(埋立て記念館)で開催されている、英会話教室についてご紹介します。

このサークルは毎月2回土曜日に、NHKのラジオ講座、『中高生の基礎英語 in English』のテキストを使用して学習しています。

全編英語で放送されているラジオ番組を教材としているので、英語学習を習慣化するには最適な内容です。

全編英語とはいえ、難しい単語や言い回しは使わず、わかりやすい表現に言い換えて説明があるので、15分間無理なく聞く事ができます。

そしてタイトルには、「中学生」と付いていますが、学生向けという事ではありません。

中学・高校で扱う表現を使って会話ができるようになるのが目標です。

具体的には…

- ・自分の日常の出来事や身の回り、社会生活での話題を理解することができる。
- ・また、それらの事について自分の意思や理由を簡単に説明できる。

といった、基礎を踏まえつつの中級クラスの内容です。

現在受講されている方は、とても明るく前向きな方が多いので、講師としてもとても楽しいです。

語学は一朝一夕には成果が出ず、途中で学習を辞めてしまうこともあるかと思えます。

ですが継続する事で、語学は確実に身につきます。

ゆったりとしたペースで楽しく継続できるのがこの教室の魅力です。見学して体験することもできますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください!

### 生徒さんの声

中高生の基礎英語に中高年が楽しみながらチャレンジしています。

皆さんとの会話を通じて色々な情報を得ることが出来てとても楽しいです。

## 学習支援(大佐和中)

### 外国人生徒サポート



### 綾部 裕美子

昨年に引き続き、今年も大佐和中学校で外国人生徒サポート事業として中学生の外国人生徒の学習支援にとりくんでいます。

今年4月には高校受験で念願だった高校生になることができた中学生がいます。ひとつ夢が叶ったようです。続いて来年高校受験をめざす生徒もいます。

ボランティアではありますが、未来につながる責任も感じているところです。私達が外国人生徒の将来に少しでも応援できれば嬉しい限りです。

## 外国人児童サポート

### 久米 ゆい

昨年2022年9月より、青堀小学校にて外国人生徒向けの日本語学習の補助を行っております。

現在、小学校では日本語を母国語としない児童が複数在籍しています。

そういった児童を対象として、通常授業の合間に、日本語指導教室での日本語学習を行っています。私はそのサポートとして毎週1~2回ですが、小学校へ行っております。

"外国語を教える"という意味では、私は英語を教える機会もあるので、教える側も、学ぶ側も共通する事も多いはずだと思って始めましたが、根本が大きく違いました。

私が英語を教える方々は、「自分から望んで」外国語を学びます。

ですが、日本語指導にいる生徒は、自分の年齢の義務教育に付いていくために「必要」とされて来ている。

児童たちは、自分の学年の日々の学習と並行しながら、文化の違いや学校生活を全てリアルタイムで感じながら、日本語を学習しに来てくれています。普通に語学を学ぶよりもとても難しい環境で、子供たちは頑張っています。

日々学習目標を決めても、確実にこなせるとは限りません。家庭での些細な出来事や、次の体育は気が乗らない…など、小さなことでも子供の胸はいっぱいになります。

本当は仕事として任されている以上、割り切って学習を進めなければいけません。そうもいきません。そんな時は問題の数をこなすより、たわいもない話をして、少しでも今日1日の学校生活が楽しく過ごせるよう心がけています。

日本語サポートとはいえ、学習より雑談の方が確実に上手になっていきます。気持ちを日本語で一瞬懸命伝えてくれるのはとても嬉しいです。子供たちが、大切な子供時代を楽しく過ごせるように願い、微力ながらいつもサポートに向かっています。

この場をお借りしまして、日本語指導を支えてくださる先生、温かく迎えてくださる学校の皆様にお礼を申し上げます。

## 会員募集

富津市国際交流協会では、国際交流に関心のある方のご入会をお待ちしています。

会費(年会費) 個人1,000円(ただし、学生・生徒500円)  
団体 / 1口10,000円

会の運営はみなさんの会費で支えられています。納入忘れはないか、ご確認を!

事務局: 富津市 総務部 企画課内

TEL 0439-80-1223

FAX 0439-80-1350

Mail: [fira.secretariat@gmail.com](mailto:fira.secretariat@gmail.com)

### 編 集 後 記

お待たせしました。約1年半ぶりの発行ができ、ほっとしました。内容がもりだくさんでお楽しみいただけることと思います。

8月の中学海外派遣については、次号にて載せることとなります。

(広報部員一同)